

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
平成24年3月期 第3四半期決算短信説明資料
平成24年2月10日

人と人を車でつなぐ架け橋 カーチス



ご注意:当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目 次

【1】 平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

- ①自動車流通業市場の背景
- ②業績ハイライト
- ③貸借対照表
- ④損益計算書
- ⑤キャッシュ・フロー計算書
- ⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数)
- ⑦3Q実績および4Qについて

【2】 営業施策進捗

- ①新規出店計画
- ②業者向け販売の強化
- ③新規事業及び海外進出、M & A進捗

【1】平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

①自動車流通業市場の背景

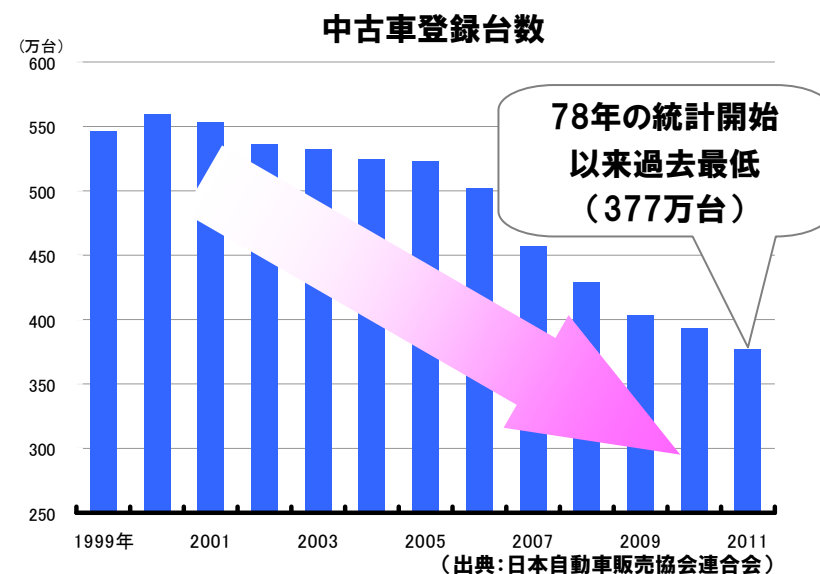
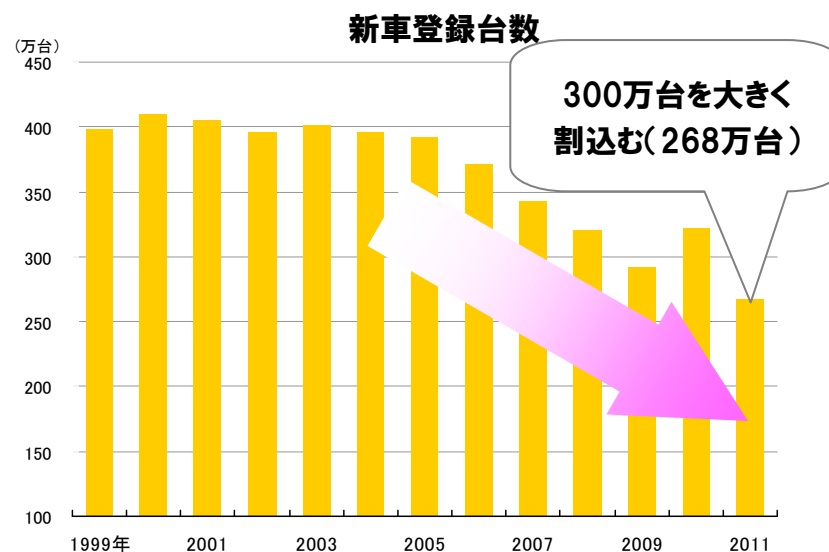
■ 2011年自動車市場

新車登録台数＝震災、タイの洪水等の影響で、前年比16.7%減少

中古車登録台数＝11年連続減少

新 車 ⇒ 本年4月開始のエコカー補助金制度復活に期待感

中古車 ⇒ 消費者の中古車離れの傾向強く、中古車市場の見通しは不透明

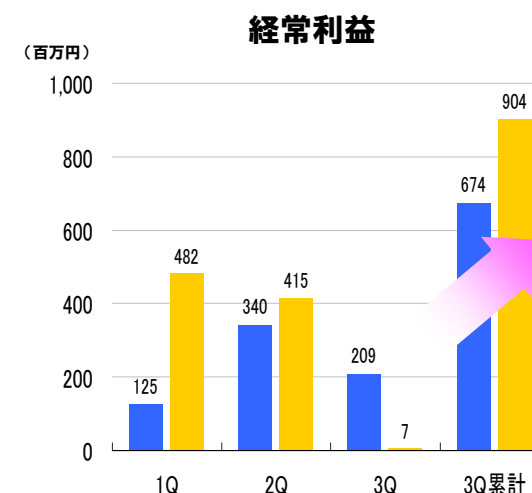
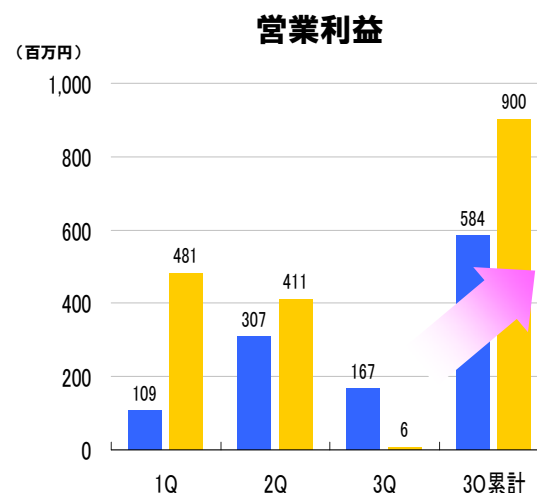
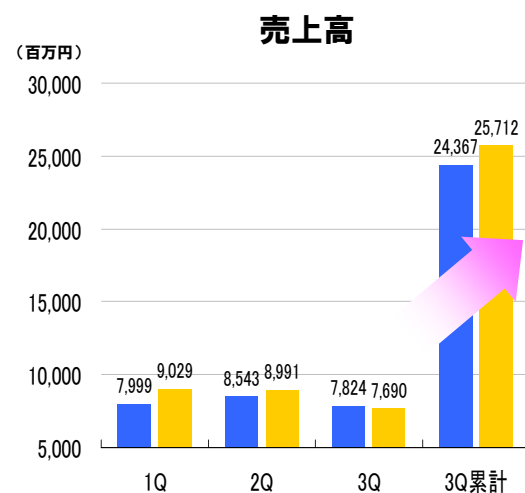


【1】平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

②業績ハイライト

3Q業績進捗が鈍化するも、 累計実績は、前年比プラスを維持

【3Q累計】 売上高	25,712百万円（前年同期比105.5%）
営業利益	900百万円（前年同期比154.1%）
経常利益	904百万円（前年同期比134.1%）



■ H23年3月期 ■ H24年3月期

【1】平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

③貸借対照表

自己資本比率および流動比率ともに向上(2Q比)

(単位:百万円)

	平成24年3月期 3Q	平成24年3月期 2Q	前四半期比	平成23年3月期末	前期末比
流動資産	5,631	5,917	95.2%	5,252	107.2%
固定資産	1,012	982	103.0%	1,066	94.9%
総資産	6,643	6,899	96.3%	6,318	105.1%
流動負債	1,822	2,014	90.4%	4,128	44.1%
固定負債	173	151	114.6%	147	117.8%
純資産	4,648	4,733	98.2%	2,042	227.6%
負債・純資産合計	6,643	6,899	96.3%	6,318	105.1%

《補足説明(2Q比)》

- ✓ 流動資産 : 2Q比285百万円減少 現預金・売掛金245百万円増加、商品450百万円減少
- ✓ 流動負債 : 2Q比192百万円減少 買掛金・未払金146百万円、前受金62百万円、閉鎖店舗引当金61百万円が減少
 - ▶ 流動比率 309.1% (2Q 293.7%)
- ✓ 純資産 : 四半期純利益▲78百万円の計上により減少(税制改正に伴い、繰延税金資産を82百万円取崩し)
 - ▶ 自己資本比率 69.9% (2Q 68.5%)

【1】平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

④損益計算書

オートオークション相場の下落等により足元業績苦戦も、累計実績において増収増益を確保

(単位:百万円)

	3Q (累計)	平成23年3月期 3Q (累計)	前年同期 増減率
売上高	25,712	24,367	105.5%
売上原価	20,752	19,596	105.9%
売上総利益	4,960	4,770	104.0%
販管費	4,059	4,186	97.0%
営業利益	900	584	154.1%
経常利益	904	674	134.1%
四半期純利益	2,619	440	594.2%

《補足説明》

- ✓ 売上高 : 震災後から続く厳しい環境の中、前々期からの新規出店及び従業員の生産性向上により、前3Q比5.5%増
- ✓ 売上総利益 : ユーザー買取台数が前3Q比7.2%増加したことにより、前3Q比4.0%増加
オートオークション販売は、2Qから続く相場の下落傾向が響き、売上総利益率は前3Q比0.3%減少
- ✓ 販売管理費 : 新規出店による人件費等の増加はあるものの、地代家賃等の減少により前3Q比97.0%
販管費率 15.8%(前3Q 17.2%)
- ✓ 営業利益 : 前3Q比54.1%と大幅増 営業利益率 3.5%(前3Q 2.4%)
- ✓ 四半期純利益 : 税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し82百万円を計上

【1】平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

⑤キャッシュ・フロー計算書

営業キャッシュ・フロー、2Q比557百万円増加

(単位:百万円)

	平成24年3月期 3Q累計	平成23年3月期 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,978	295
投資活動によるキャッシュ・フロー	42	391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△5
現金及び現金同等物の増加額	2,010	681
現金及び現金同等物の期末残高	3,218	1,588

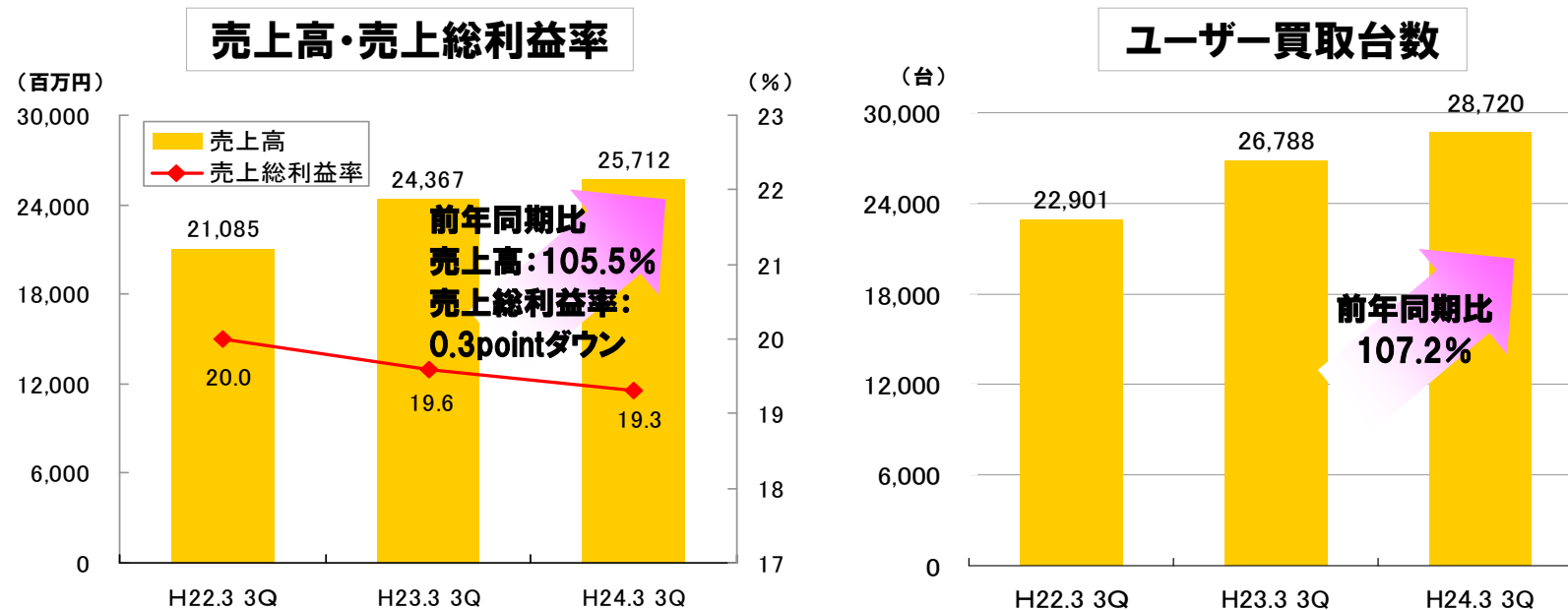
《補足説明》

- ✓ 営業CF : 仕入債務の減少(211百万円)、閉鎖店舗引当金の減少(183百万円)のマイナス要因があったものの、大幅な増益、1Qにおける訴訟の勝訴による拘束性預金(500百万円)の解除、売上債権の減少(775百万円)およびたな卸資産の減少(323百万円)により、前年同期に比べ大幅に増加
- ✓ 投資CF : 敷金回収による収入、投資有価証券の売却による収入により増加

【1】平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数)

■ オートオークション相場下落(3Q)が粗利益率に影響



- ✓ 中古車業界は、依然厳しい状況が続く中、前々期からの積極的かつ効果的な新規出店によりユーザー買取台数が続伸。(3Q対前年同期比107.2%)
- ✓ 売上総利益率は、上半期に比べオートオークションの相場が大きく下落したことが影響し、19.3%に低下

【1】平成24年3月期 第3四半期累計期間決算の状況

⑦3Q実績および4Qについて

■ 当第3四半期実績について

(単位:百万円)

	第3四半期実績	当第2四半期累計
売上高	7,690	18,021
売上総利益	1,302	3,657
売上総利益率	16.9%	20.3%
営業利益	6	893

2Qと比較し、オートオークション相場の下落に伴い、売上総利益率が低下。
しかしながら、足元の相場は回復傾向

■ 第4四半期について

- ✓ 3Qでのオートオークション相場の落ち込みは回復基調
- ✓ 4Qは、中古車業界最大の繁忙期
- ✓ 前々期、前期共に年間の利益の約40%を4Qが占める

繁忙期である4Qでの上積みにより、通期業績予想上方達成を目指す

【2】 営業施策進捗

① 新規出店計画

■ 今期、既に8店舗の新規出店
(3Q:大阪府貝塚市、埼玉県三郷市
大阪府箕面市、千葉県成田市)

既存店舗のみならず、
新規店舗が収益に大きく貢献
引き続き、積極的な出店を推進



【カーチス箕面 店舗外観イメージ図】

【新規出店店舗実績】

店舗名		3Q実績(累計)
前々期 新規出店	カーチス大阪平野	売上高 1,914百万円 店舗収益 116百万円
	カーチス柏	
	カーチス盛岡	
	カーチス熊谷	
	カーチス名古屋緑	
	カーチス水戸	
前期 新規出店	カーチス江戸川	売上高 1,417百万円 店舗収益 52百万円
	カーチス小田原	
	カーチス倉吉	
	カーチス泉大津	
	カーチス越谷	

【2】 営業施策進捗

② 業者向け販売の強化

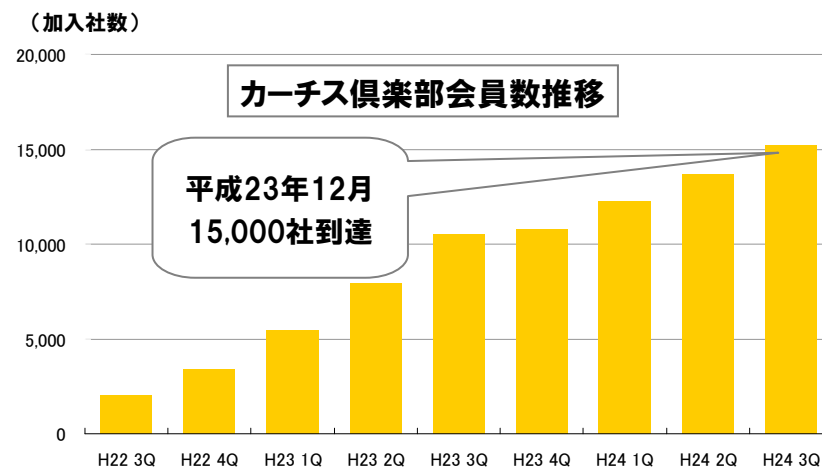
■ カーチス倶楽部の更なる拡充 ⇒ 会員数 15,000社到達

✓ 中部自動車販売(株)および(株)ジェイ・エー・エーとの共有
在庫システムに続き、数社との在庫共有化を模索

会員特典サイトの開設、

カーコーティング用品の格安販売等の付帯サービスを開始。

会員様とのお取引の更なる活性化を目指す



【「カーチス倶楽部」会員様専用HP】

【2】 営業施策進捗

③新規事業及び海外進出、M & A進捗

■ 国内最大級のインターネットショッピングモール「楽天市場」に 自動車関連パーツのオンラインショップ

「カーチス楽天市場店」(<http://www.rakuten.co.jp/carchsparts/>)オープン (平成23年10月21日)

ご購入いただいた商品は、カーチスのサービス工場にて
取り付け・設置が可能



ネットとリアルを融合させ、
収益機会増加を企図



■ 海外進出、M & A

- ✓ 韓国に社員を駐在させ、市場調査を継続中
- ✓ アジア圏を中心に、他国も調査検討
- ✓ 国内外を問わず、同業および周辺事業のM & A案件を模索